

福井県水産試験場の施設使用に係る運用規程

1 適用範囲

この規程は、水産試験場企画・先端研究室が事務を所掌するふくい水産振興センター（以下、「センター」という。）が行う企業との共同研究に適用する。

2 施設使用契約の締結

センターとの共同研究に際し、企業が水産試験場の施設を使用する場合は、施設使用契約を締結する。

3 使用料の算定方法

使用料は以下の算定方法に基づき決定する。

使用料 = 保守管理・修繕費 + 光熱水費 + 消耗品・原材料費 + 消費税

保守管理・修繕費 = 購入価格 / (耐用年数 × 年間使用月数)

光熱水費（電気料）= 電気料単価 × 電気量（kWh） × 基準水量

※ 基準水量は1か月あたり 水槽容量（トン） × 100 とする。

消耗品・原材料費 = 使用機器における時間当たりの消耗品・原材料費

消費税 = 上記3つの項目に対する消費税分を加算

なお、企業が独自に機械、機具等の設備を持ち込み使用する場合は、当該設備の電気料を別途徴収する。

さらに、水産試験場敷地内において企業が施設（建物及び設備）を整備する場合は、その維持運営に要する経費（光熱水費、火災保険、修繕費等）は全て企業自らが負担するものとする。

4 使用料の免除

下記に該当する場合は、使用料の全部または一部を免除することができる。

- (1) ポンプ類など設備の故障により、研究が実施できない場合
- (2) 疾病の発生により、水槽内すべての魚類の殺処分が必要になった場合
- (3) その他、水産試験場長が必要と認めた場合

5 その他

この規程に定めるもののほか、施設使用に必要な事項は、水産試験場長と企業の代表者が協議して決定する。

(附則)

- 1 本基準は令和4年12月1日から施行する。